

松山市における環境的に持続可能な交通(E S T)モデル事業 ～松山市まちづくり交通計画の推進～

事業概要

トランジットモールの導入検討、交通結節点整備、パーク&ライド等の公共交通機関の利用促進や、交差点改良等の道路整備、低公害バスの導入等、総合的な交通施策を講じることにより、交通分野の環境負荷低減を図るもである。

平成17～19年度の
概ね3か年で実施

目標

1年目

PTPS導入路線のバス運行時間を5分短縮を図り、導入路線を走行する路線バスのCO2排出量を約10%(約30t/年)削減する。

2年目

低公害バス(CNG、ハイブリッドバス)を導入し、路線バスのCO2排出量を約1%削減する。

3年目

・低公害バス(CNG、ハイブリッドバス)を導入し、路線バスのCO2排出量を約2%削減する。
・郊外型結節点整備により、鉄道駅利用者を3%増大する。

